

お客さま 各 位

東 濃 信 用 金 庫

お客さま本位の業務運営に関する基本方針の策定・公表について  
(フィデューシャリー・デューティー)

日頃は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

東濃信用金庫(理事長：市原 好二)では、「金融商品の勧誘方針」を踏まえて、当金庫の基本方針・長期ビジョンに基づき、お客さま本位の業務運営を行ってまいりました。

今般、これからも、お客さまの安定的な資産形成や資産運用の実現に向けて、常にお客さま本位で考動するため、「顧客本位の業務運営に関する原則」(平成29年3月 金融庁公表)を採択しました。

経営理念として、「地元と共にあり、共に栄える」を実践し、「お客さまのニーズに適合した金融サービスの提供」をはじめ、「金融商品・サービス」の内容について適切な開示・説明により、お客さまの的確な判断に資する情報提供に努めてまいります。

なお、以下の基本方針を定め、これを遵守するとともに、定期的な見直しを行い、目的の達成に向けて一層の改善と態勢整備に努めてまいります。

◎お問い合わせ先

東濃信用金庫 営業統括部 担当：舟橋

電話：0572-25-2120

## お客さま本位の業務運営に関する基本方針

東濃信用金庫は、「地元と共にあり、共に栄える」を経営理念とし、お客さま本位の業務運営を経営の最重点課題に位置づけ、あらゆる事業活動において、高い倫理観に基づいた実践を進めてまいります。

お客さま本位の業務運営重視の風土の確立を目指して、役職員一人ひとりが理解し、遵守することに努めてまいります。

### 1. お客さまのニーズを配慮した商品ラインアップの整備とサービスの提供

○幅広くかつ高品質な商品ラインアップの整備に努め、お客さまの投資目的やリスク許容度等に応じ、適切な商品を選択いただけるよう環境づくりに取り組んでまいります。

○より多くのお客さまに利用いただきやすい商品ラインアップを提供してまいります。

### 2. お客さま本位のコンサルティング機能の発揮

○お客さまの知識、経験、財産の状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らして、適正な情報の提供と商品説明をいたします。

○お客さまにご負担いただく手数料その他の費用等について透明性と分かりやすい説明に努めてまいります。

### 3. お客さまとの信頼関係の強化

○お客さまの安定的な資産形成や資産運用に役立つよう、継続的なアフターフォローを通じて、経済環境、市場動向、時価等の適切な情報提供やアドバイスに努めてまいります。

○タブレット端末等を活用して、お客様の満足度向上に役立つシステムを導入し、業務の一層の堅確化を進めるとともに、対応の迅速化によるお客さまの利便性向上を図ってまいります。

### 4. お客さま本位の業務運営を行うための人材育成と販売態勢

○FP（ファイナンシャル・プランナー）等外部資格の取得を奨励して、役職員の資質向上を図ってまいります。

○お客さま本位の業務運営の実現と定着化を目的に、お客さまの声を真摯に受け止める態勢を構築してまいります。

### 5. 利益相反管理

○信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、「利益相反管理方針（別に公表）」に基づき、『お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引』を適切に管理し、お客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼の向上に努めてまいります。



## 【取組状況】

1	我が国に蓄積された国民の富を安定的に増大させる資金の流れを実現するため、家計の金融資産をバランスのとれたポートフォリオに移行していくことが重要となるため、投資信託・生命保険においては、お客様の多様なニーズにお応えできるよう、商品ラインアップの維持・充実に努めてまいります。
---	--

### ○投資信託ラインアップ

投資対象分類	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月
主に債券（国内）	2	2	2
主に債券（国内外）	2	2	2
主に債券（海外）	4	5	5
主に株式（国内）	3	3	5
主に株式（海外）	3	3	6
主に不動産（国内）	2	2	2
主に不動産（海外）	3	3	3
バランス型（国内外）	2	3	5
合計	21	23	30
内ノーロード	1	1	7

### ○生命保険ラインアップ（事業性保険除く）

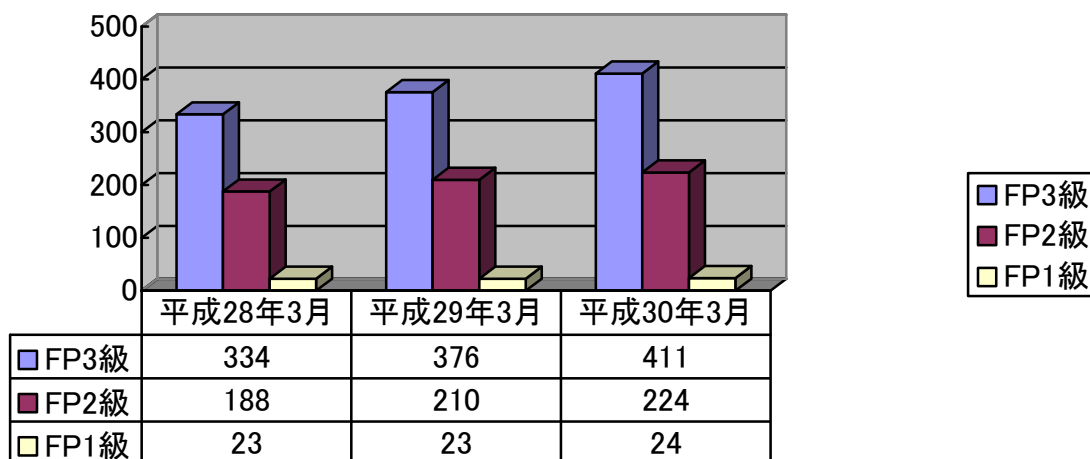
平成30年3月末現在

保険種類	取扱商品数	一時払	平準払	内外貨建
個人年金保険	2	1	1	1
終身保険	4	4	1	1
定期保険	1	0	1	0
学資保険	0	0	0	0
医療・がん保険	9	0	9	0
合計	17	5	12	2

※ 特定保険は平成29年4月より手数料開示を開始

2	FP資格の取得状況は高水準を維持しており、プロフェッショナルとしての専門性を高めています。今後も、職員の自己啓発ポイントでの意識づけ、昇格条件として位置づけ、より一層資格取得を奨励してまいります。
---	--

### ○FP資格者の推移（単位：名）



3 平成30年1月取扱い開始「つみたてNISA」の口座数は拡大傾向にあり、引き続き、お客様の着実な資産形成に貢献してまいります。  
 また、平成29年1月取扱い開始の「iDeCo」も同様、お客様に積極的に提案してまいります。

○「つみたてNISA」「iDeCo」契約件数の推移（単位：契約数）

